

酢豚に「パイプ」



手間、かかっています。

この記事は、営業部『斎藤 一路』が担当しました。

みなさん、こんにちは。
新潟もだんだんあつちえなってきました。
さて、今回はセルクルリングが出来るまでの工程を紹介いたします。
なァーに製品は板を丸めただけで簡単に作れるのでは？と、思うかもしれませんが、実は結構手間が掛かっているんですよ。

1、材料。作りたいセルクルの径・高さの応じたサイズにカット。



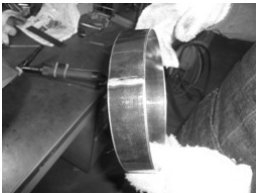
2、1の材料のカット部(淵)のバリ取り。



3、3本ロールという機械に板を通すと徐々に丸くなってきます。大きさにもよりますが3回くらいでほぼ円になります。



4、溶接。今回はアルゴン溶接です。初めに2箇所仮止し、その後本付け、継ぎ目部分上から下へ溶接。凄まじい溶接光です。(目に悪いので直接光りは見ないほうがいいです)



5、研磨。初めに溶接の焼け跡処理・内側・外側の順にバフ研磨すると、表面がピッカピカになりました。

6、洗浄・包装してようやく完成です。

以上、細かい部分は省きましたが1ヶ作るのにこれだけの手間が掛かっているんです。

今回、職人の技術の高さを改めて感じました。

また、こちらのメーカーではステンレス・鉄・アルミなどの材質であらゆる別注品対応できます。

ちなみに今まで依頼した中で製作不可な物はなかったと思います。

“何かこんな物出来ないかなあ”などございましたらお気軽にご連絡下さい。

最後に今回ご協力いただいた工場長ありがとうございます。

社員紹介



はじめましてこんにちは。
勤続7年目になります廣澤といいます。

いつもお世話になっております
m(__)m

電話のやりとりがメインですが、私の事をわかる方いらっしゃいますでしょうか？(笑)

「ひろさわ」というあまり聞かない名前なので「ひろかわ」とか「ひろせ」と覚えてる方も多いのではないのでしょうか？

実際この苗字は全国的にみても少ないので私も同じ苗字の方に会うのはなかなかありません(^_^;)

判子も既製品がありません(TOT)！！

同じ苗字の方に会えたら奇跡！（大袈裟ですかね？）なんです！

生まれも育ちも新潟県燕市ですが、燕市近郊の市町村のお住まいの廣澤さんは実は親戚・・・なんてことはよくあります(笑)。

たまに銀行で会ったりすると知らない人なのに会釈したり・・・。(妙な親近感が沸くのです、なぜか)

・・・さあ、「ひろさわ」が定着しましたね！？

次回お電話口で廣澤の名前を聞いた時は「ああ、あの廣澤さんね」と思っていただけで幸いです。

どんどんお電話下さいませ♪
こんな社員もおります 株式会社カンダを宜しくお願いします。(^^)v



〒959-1272

新潟県燕市杉柳912

TEL:0256-63-4541 (代表)

FAX:0256-64-2960

e-mail:kanda@kankuma.co.jp

http://www.kankuma.co.jp/



行ってきました

この記事は、事務の「外山 ゆかり」が担当しました。

ずっとずっと行ってみたかった潮干狩り！！
 ようやく行く事が出来ました。
 行くと決まった日から興奮が収まらず・・・
 事前準備はワクワクしながら入念に！
 行き先は福島県 福島松川浦自然公園。ナビで住所を検索するとなんと5時間！！お隣なのに・・・
 当日の朝6時に出発
 天気は大変良く最高のドライブ日和でした。
 車の中では「採れなかったらどうする？」「大漁だったらいいね。」と会話が弾みながら・・・
 高速道路を降りてから山を2つ越え、ようやく見えてきました干潟が！！



もう大興奮！！誘導された駐車場は県外ナンバーでいっぱい！！
 ようやく車を止める事ができ長靴に履き替え、寒いと悪いので上着を着て手には買った熊手とバケツ。準備OK！入り口でお金を払い2kg入



る網を貰い、いざ干潟へ！
 干潟へ入ると足元からあさりの感触が伝わってくる。

さっそく砂と格闘！！
 ひたすら熊手で砂を掘っていると出てくる、

出てくる！大漁だ！笑いが止まりません。超～楽しいと思っていたのは最初だけ・・・
 干潟に足を捕られぬかるみ、中腰で腰は痛くなり・・・
 一緒に行った2歳の姪は座り込み泥遊びを始めてしまいあさり狩りどころではなくなりました。
 網をいっぱいにする事はできませんでしたが私には大満足でした。

家に着き、さっそくあさりの砂抜きをしました。やはりスーパーにある物とは違い元気に水を吐いている様子を始めて見る事ができました。
 来年もまた行きたいな、なんて思っています。

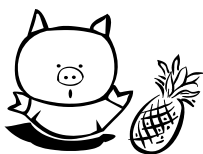


この記事は、編集の「佐藤 麻美」が担当しました。

毎年恒例、この時期がやってきました。
 私の家は両脇が田んぼで田んぼの真真中に家があります。雪も溶け暖かくなってくると田んぼの方からはケロッ・ケロケロとカエルが鳴き始め、この鳴き声が聞こえて来るとやっとな春がきたと実感します。その頃になると道端にはつくしやたんぽぽも生えてくるのです
 4月の下旬にもなれば田植えの準備のため、田んぼに水が入りいつの間にか一匹や二匹だったカエルの鳴き声も、数えきれないほどの鳴き声になっているのです。田植えの頃になればカエルの大合唱のはじまりなのです。夜にもなると辺りも静かになるので、昼間の鳴き声よりもさらにパワーアップし周りの音が聞こえなくなり不思議な気分になります。
 大変なのはこれから始まる梅雨の時期なのです。雨が降るとカエルは道路まで飛び出してき、車で走るのも一苦労なのです。一匹や二匹なら車で走ってもよけるのですが、何匹もいるのでついついひいてしまうのです。大変なのはそれだけではないのです。家周りが田んぼのせいで、家の壁や窓にはいろんな種類のカエルがひっついてる例え

ば、よく見かける緑色だったり、ベージュっぽい色のものまでと色々ものがあるのです。
 どーしてか不思議な事で毎年と言ってもいいほど家の中にカエルが入ってくるんですね、どこからどーやって入ってくるのかが毎年の疑問となっております。皆さん何か良いカエル対策はございませんか？ありましたら是非佐藤までご連絡をお願いします。

ちなみに私の部屋にも数匹のカエルが生息してます。



株式会社 **カンダ**
 KANKUMA 会社
酢豚に「パイ」

カンダにご縁のあった方にお届けします！

〒959-1272
 新潟県燕市杉柳912
 (流通センター入口)
 TEL:0256-63-4541 (代表)
 FAX:0256-64-2960
 e-mail:kanda@kankuma.co.jp
 http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>